

平成31年度使用教科用図書の採択について

標題の件について、次のとおり教育委員会の議決を求める。

平成30年7月26日

富田林市教育委員会
教育長 芝本 哲也

1. 内容

別添のとおり

2. 参考資料

富田林市立小学校教科用図書選定委員会答申
「平成31年度使用 教科用図書選定資料 中学校用」

平成31年度使用教科用図書の採択について

平成31年度 富田林市立小・中学校使用教科書一覧

小学校

| 種目 | 発行者名 | 書名 |
|------|--------|----------------------------------|
| 国語 | 光村図書 | 国語(1～6年) |
| 書写 | 日本文教出版 | 小学書写(1～6年) |
| 社会 | 日本文教出版 | 小学社会(3～6年) |
| 地図 | 帝国書院 | 楽しく学ぶ 小学生の地図帳 |
| 算数 | 東京書籍 | 新編 新しい算数(1～6年) |
| 理科 | 東京書籍 | 新編 新しい理科(3～6年) |
| 生活 | 啓林館 | わくわくせいかつ・いきいきせいかつ せいかつたんけんブック |
| 音楽 | 教育芸術社 | 小学生の音楽(1～6年) |
| 図画工作 | 日本文教出版 | 図画工作(1～6年) |
| 家庭 | 東京書籍 | 新編 新しい家庭(5・6年) |
| 保健 | 東京書籍 | 新しい保健(3～5年) |
| 道徳 | 日本文教出版 | 小学道徳 生きる力・道徳ノート(1～6年) |

中学校

| 種目 | 発行者名 | 書名 |
|------|--------|--------------------|
| 国語 | 光村図書 | 国語(1～3年) |
| 書写 | 光村図書 | 中学書写(1・2・3年) |
| 地理 | 教育出版 | 中学社会 地理 地域にまなぶ |
| 歴史 | 日本文教出版 | 中学社会 歴史的分野 |
| 公民 | 日本文教出版 | 中学社会 公民的分野 |
| 地図 | 帝国書院 | 中学校社会科地図 |
| 数学 | 東京書籍 | 新編 新しい数学(1～3年) |
| 理科 | 啓林館 | 未来へひろがるサイエンス(1～3年) |
| 音楽 | 教育芸術社 | 中学生の音楽(1年、2・3年) |
| 器楽 | 教育出版 | 中学器楽 音楽のおくりもの |
| 美術 | 光村図書 | 美術(1年、2・3年) |
| 保健体育 | 大日本図書 | 新版 中学校保健体育 |
| 技術 | 開隆堂 | 技術・家庭(技術分野) |
| 家庭 | 東京書籍 | 新編 新しい技術・家庭(家庭分野) |
| 英語 | 三省堂 | NEW CROWN(1～3年) |
| 道徳 | | |

児童生徒の実態により、下学年、文科省著作の教科書では指導が困難と判断致します。

つきましては、学校教育法附則第9条による教科用図書として下記一般図書を採択下さいますようお願い致します。

(1/2)

| 発行者 | 発行者コード | 書名コード | 書名 | 理由 | 備考 |
|-----|--------|-------|--|---|----|
| 光村 | 038 | 439 | 小 国語四上 かがやき (国語 439) 拡大版【22P】 | 眼球運動の課題から小さい漢字等の形を認識することに困難があると判明した。 拡大教科書を使用することで、文字の形の認識がすすみ、読解だけでなく書字についても学習効果の向上が期待できるため。 | |
| 光村 | 038 | 440 | 小 国語四下 はばたき (国語 440) 拡大版【22P】 | | |
| 東書 | 002 | 431 | 小 新編 新しい算数 4上 (算数 431) 拡大版【22P】 | | |
| 東書 | 002 | 432 | 小 新編 新しい算数 4下 (算数 432) 拡大版【22P】 | | |
| 光村 | 038 | 639 | 小 国語六 創造 (国語 639) 拡大版【22P】 | 堺清恵会LDセンターにおいて、読み書きスクリーニングに関するアセスメントを受けた結果、単語の速読力や音読力、形合わせ力、形うつし力が低く、小さな文字で書かれている文章を読んで内容を理解することが困難であると判明した。また、WISC-IVの検査結果からも、眼球運動の課題から縦書きの文章読解に困難があることも判明した。 これらのことから、引き続き、拡大教科書を使用することで学習効果の向上が期待できるため。 | |
| 日文 | 116 | 637 | 小 小学社会 6年上 (社会 637) 拡大版【22P】 | | |
| 日文 | 116 | 638 | 小 小学社会 6年下 (社会 638) 拡大版【22P】 | | |
| 日文 | 116 | 636 | 小 小学道德 生きる力 6 (道德 636) 拡大版【22P】 | | |
| 日文 | 116 | 637 | 小 小学道德 生きる力 6 道德ノート (道德 637) 拡大版【22P】 | | |
| 光村 | 038 | 539 | 小 国語五 銀河 (国語 539) 拡大版【22P】 | 発達検査より、読み書きの困難や、グラフの読み取り困難は、「見る力」に課題があることが判明している。現在は通級指導教室を利用し、教材を拡大コピーして活用しているが、拡大教科書を使用することによりさらなる教育効果が期待できるため。 | |
| 東書 | 002 | 531 | 小 新編 新しい算数 5上 (算数 531) 拡大版【22P】 | | |
| 東書 | 002 | 532 | 小 新編 新しい算数 5下 (算数 532) 拡大版【22P】 | | |
| 日文 | 116 | 537 | 小 小学社会 5年上 (社会 537) 拡大版【22P】 | | |
| 日文 | 116 | 538 | 小 小学社会 5年下 (社会 538) 拡大版【22P】 | | |

| 発行者 | 発行者コード | 書名コード | 書名 | 理由 | 備考 |
|-----|--------|---------|---|---|----|
| 光村 | 038 | 439 | 小 国語四上 かがやき (国語 439) 拡大版【26P】 | LDセンターの医師による視機能検査の結果、発達性のディスレクシアと診断された。現在は、デジタル機器や拡大コピーなどを活用しているが、拡大教科書の使用により、さらなる学習効果が期待できるため。 | |
| 光村 | 038 | 440 | 小 国語四下 はばたき (国語 440) 拡大版【26P】 | | |
| 東書 | 002 | 431 | 小 新編 新しい算数 4上 (算数 431) 拡大版【26P】 | | |
| 東書 | 002 | 432 | 小 新編 新しい算数 4下 (算数 432) 拡大版【26P】 | | |
| 東書 | 002 | 431 | 小 新編新しい理科 4 (理科 431) 拡大版【26P】 | | |
| 光村 | 038 | 831 | 中 国語2 (国語 831) 拡大版【22P】 | 眼球運動に課題があり、現在も国語と英語で拡大教科書を使用して学んでいる。次年度も、引き続き、拡大教科書を使用することにより、さらなる学習効果が期待できるため。 | |
| 三省堂 | 015 | 830 | 中 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 2 (英語 830) 拡大版【22P】 | | |
| 光村 | 038 | 831 | 中 国語2 (国語 831) 拡大版【22P】 | 大阪医科大学附属LDセンターにて眼球運動及び視知覚に課題が認められ、学校ではスリット等を活用した個別の学習支援を行っている。2年生になり、学習内容がさらに複雑になることから、本生徒の視機能課題に配慮し、拡大教科書を使用することにより学習効果が期待できるため。 | |
| 三省堂 | 015 | 830 | 中 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 2 (英語 830) 拡大版【22P】 | | |
| 啓林館 | 061 | 832・833 | 中 未来へひろがるサイエンス2 (理科 832・833) 拡大版【22P】 | | |
| 道徳 | | | | | |

平成30年7月26日

富田林市教育委員会
教育長 芝本 哲也 様

富田林市立中学校
教科用図書選定委員会
委員長 中道 雅夫

平成31年度使用中学校教科用図書の選定について（答申）

本選定委員会は、平成30年4月教育委員会会議において、諮問のありました「平成31年度使用中学校教科用図書の選定について」審議を進め、その結論を得ましたので、別添「選定資料」を添付し、答申いたします。

平成31年度使用

教科用図書選定資料

中学校用 「特別の教科道徳」

※教科書の配列順は発行者番号順
※各発行者教科書の特に顕著な特色を記載

教科用図書選定資料 **特別の教科 道徳**

| 教科書名 | 発行者名 | 書名 | 発行者名 | 書名 | 発行者名 | 書名 | 発行者名 | 書名 | 発行者名 | 書名 | 発行者名 | 書名 | 発行者名 | 書名 | 発行者名 | 書名 |
|---------------|---|-------|---|-------------|--|---------------|---|---------------------|--|-------------|--|--------------|--|------------------------------|--|----------------------------------|
| | 東京書籍 | 新しい道徳 | 学校図書 | 輝け 未来 中学校道徳 | 教育出版 | 中学道徳 とびだそう未来へ | 光村図書 | 中学道徳 きみが いちばん ひかるとき | 日本文教出版 | 中学道徳 あすを生きる | 学研教育 みらい | 中学生の道徳 明日への扉 | 廣済堂 あかつき | 中学生の道徳 自分を見つめる 自分を考える 自分をのぼす | 日本教科書 | 道徳 中学校 生き方から学ぶ 生き方を見つめる 生き方を創造する |
| 目標・内容の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> 人との関わりの中で考える事ができる教材を取り入れ、人間関係を築く力を養い、他者とよりよく生きようとする学習ができるようになっている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、複数の教材を各学年に配置し、生徒の発達段階にあわせた適切な内容が取り上げられている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された各学年段階の内容項目については、相当する各学年において全て取り上げられている。 文部科学省資料等、これまで実践されてきた定番教材が豊富に掲載されている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれている。 | |
| 人権の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> 生命を尊び、命を大切に思い、健康に気をつけて生活できるよう生命の尊さを扱った教材がある。 | | <ul style="list-style-type: none"> イラストや登場人物には男女の絵が描かれ、多文化や障がい理解の観点からも適切な人権的配慮がなされている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 生命尊重、平和の観点で、適切な表現がなされている。 障がいのある人の活躍が紹介されている。 | | <ul style="list-style-type: none"> イラストや登場人物には男女の絵が描かれ、性差を感じないよう配慮されている。 本市の生徒にとって、身近で心に響きやすいと考えられる教材を取り扱っている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 様々な人種の挿絵が描かれている。 表紙は、当該学年の行事を意識した男女のイラストが載せてある。 イラストや登場人物には男女の絵が描かれ、性差を感じないよう配慮されている。 「生命の尊さ」や「いじめ」と向き合う資料が時期に合わせて複数掲載されている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 写真、挿絵等に登場する人物は男女平等になるように配慮されている。 障がいのある人の活躍が紹介されている。 | | <ul style="list-style-type: none"> イラストや登場人物には男女の絵が描かれ、性差を感じないものになっている。人権・いじめ防止、情報モラルの教材を多数取り扱っている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で、適切な表現がなされている。 挿絵に登場するキャラクターは男女平等になるように配慮されている。 | |
| 内容の程度 | <ul style="list-style-type: none"> 発達段階ごとに学習のテーマを示し、見通しを持った学習を促すよう配慮されている。 課題あるいじめ問題を全学年で取り上げ、いじめ防止の効果を高められるよう配慮されている。 3学年を通して情報モラルと友情を扱った教材が取り扱われている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 世界の文化や自然、スポーツや日本の地域教材など、多様な内容の教材が含まれている。 いじめや情報モラルの問題など、中学生が日常生活と関連づけて考えられるような題材が盛り込まれている。 国際理解を考える教材が複数取り入れられており、世界の人々と相互に理解する中で、グローバル社会にどのように貢献していくか考えを深める内容となっている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 「いじめ問題」のテーマについては体系的に教材を置き、3年間を通じて向き合えるようになっている。 生命倫理、情報モラル、社会参画など、現代的な課題にふれる教材を取り上げている。 まんが、歌詞など、多様な教材が取り入れられている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 定番の読み物教材だけでなく、人物の生き方や写真、漫画、新聞の投書、詩、日本の伝統文化などさまざまな題材を取り扱っている。 「生命の尊さ」を重点的に扱った教材が多く、生徒の心に直接響く内容となっている。 他教科で学習する内容とつながる教材が多く収録されており、学校教育全体を通じて道徳教育を行うことができる内容となっている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 導入のための発問やねらいにせまる発問（道徳ノート）、価値を深める発問例が記載されている。 情報モラルの教材が取り扱われている。 近畿地方、大阪府に関連した人物や事象等、数多く掲載されている。 定番の読み物教材だけではなく、漫画やアニメ、有名になった人物などを扱った教材が掲載されている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 「生命尊重」、「いじめ防止」を重点テーマに時代に即した教材がとり入れられている。 いじめ防止につながる教材が多数使われており、直接的にも間接的にも本市の生徒の心にアプローチするものがある。 | | <ul style="list-style-type: none"> 生命に関すること、生き方について考える内容を特に重点項目として取り上げている。 日常生活の中での身近な題材から、自己にふり返って考えを深めるようになっている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 情報モラル、いじめ等の現代的課題に対する指導は、教材の他にコラムも掲載し、様々な角度から考えられるようになっている。 近畿地方、大阪府に関連した人物や事象等、数多く掲載されている。 | |
| 組織・配列 | <ul style="list-style-type: none"> 各教科における道徳教育との関連を巻末の付録に取り上げて、子どもの生活実態に合わせたり、行事の時期の関係を考慮した教材の配列がされている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 本冊のサイズをワイド版にすることにより、文字やイラストを見やすく配置している。 4つの内容項目の教材が学期ごとにバランスよく配置されている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 内容項目のまとまりごとに色分けしている。 最後のページに次の学年に向けて書きつづるページが配置されている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 1年を4つのまとまりに分け、年間の流れに沿って学習をすすめていくことができるようになっている。 1つ教材にイラストや写真が多数使われている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 季節や伝統的な行事、学校行事と実施時期の関係について考慮されており、イラストや写真が多数使われている。 道徳ノートには1教材1ページの構成になっている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に今の自分を見つめるページ、巻末には一年間の学びを振り返るページがあり、自己の成長などを感じられる構成になっている。 1つのテーマに関連する複数の教材がユニットとして組み込まれている。 | | <ul style="list-style-type: none"> イラストや写真、コラム欄が適宜用いられ、文字だけのページばかりにならないような構成となっている。 1年時は読み物の文字が2、3年より大きくなっている。 | | <ul style="list-style-type: none"> A B C Dの内容項目別の配列になっているので、各校独自に教材の取り扱い順を決めることができる。 | |
| 創意工夫 | <ul style="list-style-type: none"> 実際の生活場面で起こるような出来事を教材に扱われ、深く考えることができるよう工夫されている。 「話し合いの手引き」を開いたまま、どのページも開くことができ、当該学年に合った活動のふり返りや学期ごとのふり返りを直接書き込むことで、自己の成長を見つめられるよう工夫されている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 活動のそれぞれの項目に、学習に向かうためのヒントや、意見交換をするポイントなどが示されている。 新聞記事、人物のエピソード、風景の写真、漫画などが適宜使われている。 学期ごとに「学びの記録」のページがあり、学びを蓄積し、振り返ることができる。 教材のマーク、大切なポイントのマークが色分けされて目次に記載されており、指導者・学習者が内容を把握しやすいようになっている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 導入として、問いが書かれてあり、意識づけできるようになっている。 「やってみよう」のページを設け、実際に場面を演じたり、練習をしたりする教材を配置している。 「学びの道しるべ」は発問に使いやすい内容になっている。 「都道府県にゆかりのある人物とその言葉」のページが各学年の最後に掲載されている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 題材の最後に、「学びのテーマ」のページがあり、考える観点が分かりやすく記載されている。また、自分自身のこととしてつながれるようなヒントや、気づきを記入するスペースを設けている。 巻末の「学びの記録」を活用することにより、生徒の中期的な変容をとらえることができる。 3学年とも付録の「学びのひろば」に小学校で取り上げられている教材を掲載することにより、さらなる深い学びにつなげることができる。 | | <ul style="list-style-type: none"> 道徳ノートで、自分のことを書く欄や友達の考えを書く欄、一年間を通して心に残った教材をふり返る欄などがあり、自己の成長や学びを見つめられるよう工夫されている。 教材とは別に「ブラットホーム」のページを設け、別の角度から考えを深めたり広げたり工夫されている。 教材の題名の下欄に、登場する主人公が絵で示されている。 生徒の話し合いの様子や役割演技の様子が写真で示されている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 全学年の共通の重点テーマ「いのちの教育」として、それぞれの学年生命の尊さを学ぶ教材が3本ずつ用意されている。 情報モラルに関する教材には、多くじて「情報モラル」と明示されている。 図やグラフ、写真などが見やすいようにA4サイズになっている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 題材の最後に発問のヒントとなる「学習の手がかり」が示されている。 別冊の道徳ノートにも読み物や詩、資料が載っており、自分の身近なものとしてとらえ、考えて記入できるようなページが設定されている。（本冊と直接の関連は持っていない） | | <ul style="list-style-type: none"> より深く考えさせたい内容を「重点主題」として複数時間で取扱いできるように工夫されている。 B-8の項目で3年間の系統だった内容教材が取り扱われている。 教材の最後に生徒の考えを深めるための問いがある。 | |
| 補足的な学習・発展的な学習 | <ul style="list-style-type: none"> 全学年の巻末に付録の教材があり、教材に関連したことを広げられるよう取り扱われている。 1年生では小学校で取り上げられている教材を掲載している。 | | <ul style="list-style-type: none"> 教材の最後に「心の扉」という読み物がついており、学習のふり返りや、自分の考えを記入できるようなスペースが作られている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に「〇年生の道徳が始まる」、巻末に「道徳の学びをふり返ろう」のページがある。 「補充教材」として、各学年5つの資料が掲載されている。 | | <ul style="list-style-type: none"> コラムのページが充実しており、本文とは別にいじめや情報モラルの問題、現代社会や学校生活での身近な話題など、さまざまな分野で考えを深め、話し合うことができるようになっている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 教材とつなげて、考えを深める「ブラットホーム」のページを設けている。 いじめ防止教材は、複数の教材をユニットとすることで学級の状況に応じた授業を展開できるよう工夫されている。 道徳ノートと本文の最後に「自分に+1」のコーナーを設け、発展的な学習につなげる工夫がされている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 深めよう、クローズアップといった特設ページを設け、視野を広げるページがある。 | | <ul style="list-style-type: none"> 巻末に情報機器による課題、国際社会や自然環境など、現代社会と未来を考える項目が設定されている。 道徳ノートを活用することによって、理解を深め、効果的に記録に残せるようになっている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に「この本の使い方」「道徳のノート(例)」、巻末に「ふりかえり」(記録)のページがある。 | |